

アシスト、世界的に注目される「Ubuntu」の エンタープライズ向けサポートを提供開始 ～英 Canonical 国内総代理店として「Ubuntu Advantage」販売開始～

株式会社アシスト(本社:東京都千代田区、代表取締役:ビル・トッテン、以下、アシスト)は、Ubuntu プロジェクトのスポンサーである Canonical Limited (本部オフィス:マン島、英国、CEO Jane Silber、略記 Canonical)と国内総代理店契約を締結し、Canonical が提供する「Ubuntu Advantage」の取り扱いを開始します。

Ubuntu はオープンソースのオペレーティング・システム(以下、OS)であり、サーバ、クラウド、デスクトップの Linux ディストリビューションです。国内外で人気が高く、企業や団体において採用されています。Ubuntu は他の Linux ディストリビューションと同様に、高度な機能やアプリケーションが搭載されており、堅牢、セキュアで、安定したサーバ、デスクトップ、仮想マシン、クラウド環境を実現します。通常版は半年おき、長期サポート版(Long Term Support、以下 LTS)は 2 年おきに定期的にリリースされます。また、セキュリティ・パッチやバグフィックスも、通常版は 18 カ月間、LTS はサーバは 5 年間、デスクトップは 3 年間に渡って提供されます。Ubuntu の主要開発元である Canonical がサブスクリプション・サポート「Ubuntu Advantage」を提供しているため、企業・団体でも安心して利用することができます。

「Ubuntu Advantage」は、Ubuntu を搭載したサーバやデスクトップ・マシンを効率よく管理/監視するツール「Landscape」の提供および迅速なトラブル対応などエンタープライズで求められるサポートをまとめてサブスクリプションとして提供するサービスです。「Landscape」により単一インターフェースで、サーバ、デスクトップ、仮想マシン、クラウドなどすべての Ubuntu システムの管理が容易になり、タスクの自動化や、パッチの適用等を簡単に行うことができます。

アシストは OpenOffice.org 支援サービスや PostgreSQL、Talend 等のサポートを通じ、国内の企業、団体から Linux の取り扱いについての質問や要望が数多く寄せられていたこともあり、世界的に人気のある Ubuntu の評価を行ってきました。アシストはサーバおよびデスクトップのさらなるオープン化を実現するため Canonical と提携し、国内総代理店として「Ubuntu Advantage」の提供を開始します。

来る 7 月 20 日(水)には、Canonical の CEO Jane Silber の来日に合わせ英国大使館にて、Ubuntu の採用を検討している企業/団体、ハードメーカー、SIer、Linux 関係者およびコミュニティ関係者を対象として「Ubuntu Advantage」について詳細をご紹介するイベントを開催します。

■本プレスリリースに関する各団体からのエンドースおよび Canonical コメント

・The Linux Foundation ジャパンディレクタ 福安 徳晃 様

Linux の最大の強みは「エコシステム」にあります。日本におけるパッケージソフトウェアプロバイダの雄であるアシスト様が英国 Canonical 社と提携し、日本の市場で Linux ビジネスをされることによって、日本における Linux(とりわけデスクトップ)のエコシステムは大きな恩恵を受けることになるでしょう。

Linux エコシステムの今後の成長への寄与という観点から、私たち The Linux Foundation もこの度のアシスト様の新規事業を歓迎し、大いに期待致します。

・Ubuntu Japanese Team 代表 小林 準 様

Ubuntu Japanese Team は、2005 年よりボランティアグループとして日本における Ubuntu ユーザーのサポートやイベントの開催、Ubuntu の日本語環境改善などの活動を行っています。今回の株式会社アシストと Canonical Limited との提携、および日本における「Ubuntu Advantage」の提供開始を心より歓迎いたします。

Ubuntu のリリースから約 7 年が経過し、日本においても導入を検討する組織が増えつつあります。エンタープライズ向けサポートに対する要望が高まる中、オープンソースソフトウェアの導入サポートで実績のあるアシストが Canonical の国内代理店としてサポートサービスを提供することは、市場のニーズに応えるものであると思われれます。このサービスを利用して、多くの組織が Ubuntu を導入することを期待しています。

・Canonical Limited コーポレート・セールス・マネージャ Paul Holt 様

アシストは、Ubuntu Advantage のシステム管理サービスとサポート・サービスを提供することにより、日本国内の企業がより生産性の高い IT 環境を実現し、業務効率の向上と大きなコスト削減を実現することを支援することになるでしょう。我々 Canonical は、Ubuntu が世界の企業から高い関心を持たれ、Ubuntu Advantage が企業 IT の効率化に寄与することを心から喜ばしく思っています。

■「Ubuntu Advantage お披露目セミナー」について

日時: 7月20日(水)15:00~(14:30 受付開始)

会場: 駐日英国大使館

アジェンダ:

- ・株式会社アシスト代表取締役 ビル・トッテン
「ご挨拶」
- ・Canonical Limited CEO Jane Silber
「アシスト×Ubuntu、日本市場への期待」
- ・株式会社アシスト 公開ソフトウェア推進室 神谷 昌直
「Ubuntu Advantage について」
- ・懇親会

※事前申込制、詳細はお問い合わせください。

■Canonical Limited について

Canonical は、Ubuntu プロジェクトの支援企業として、人気が高く、急速に発展しているオープンソース・オペレーティング・システムである Ubuntu の開発、サポートに積極的に取り組んでおり、すべての企業や個人においてサーバ、デスクトップ、ラップトップ、ネットブックで Ubuntu が使われることを目標にしています。Canonical は Ubuntu のサーティファイ(認定)や、企業や団体に対する移行支援、トレーニング、オンライン・サポートを提供しています。詳細は Canonical のウェブサイトをご覧ください。

■株式会社アシストについて

代表取締役:ビル・トッテン
設立:1972年3月
社員数:820名(2011年4月1日現在)
本社:東京都千代田区九段北4-2-1
URL:<http://www.ashisuto.co.jp/>

アシストは、特定のハードウェア・メーカーやソフトウェア・ベンダーに偏らない、幅広いパッケージ・ソフトウェアを取り扱う会社です。複数のソフトウェアと支援サービスにアシストのノウハウを組み合わせ、企業の情報システムを情報活用、運用、データベースのそれぞれの分野で支援しています。アシストは、情報活用支援サービス企業 No.1 を目指して活動しています。

■アシストのオープンソースへの取り組み

アシストは 2007 年より「OpenOffice.org」を社内標準とすると共に、企業・団体向けに支援サービスを 100 社以上提供してきました。本年はオフィスソフト「LibreOffice」の支援サービスも開始しています。さらにデスクトップでは「Thunderbird」、「Firefox」、サーバではデータベース「PostgreSQL」、データ統合ツール「Talend」のサポートを提供しています。

■ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社アシスト 広報部 担当:田口
TEL:03-5276-5850 FAX:03-5276-5895
E-Mail:press@ashisuto.co.jp

■「Ubuntu Advantage」に関するお問い合わせ

株式会社アシスト 公開ソフトウェア推進室 担当:小川
TEL:03-5276-5807 FAX:03-5276-5878
E-Mail:oss_web@ashisuto.co.jp
詳細 URL:<http://www.ashisuto.co.jp/prod/ubuntu/>

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。